



8.20 古河公方公園づくり円卓会議

第99回古河公方公園づくり円卓会議で犬の散歩のルール等が議決されました！

今回で第99回を迎える古河公方公園づくり円卓会議。毎回さまざまな視点から意見がある中、以前から議論を重ねてきた「犬の散歩に関するローカルルール」について、今回新たに以下のローカルルールが議決されました。当公園には非常に多くの愛犬家が訪れる一方で、犬の散歩以外の利用者の方もたくさん遊びに来ます。すべての人が安心して楽しく公園を利用できるよう、以下のルールへのご理解とご協力をお願いいたします。

リードの長さについては、他の来園者が安心して過ごせるよう、適切な長さを定めています。排泄物の適切な処理フンの放置はもちろん、園路灯などの施設への尿の掛け放置は、サビによる倒壊や漏電など重大な事故につながる恐れがあります。公園を長くきれいに保つためにも排泄物の処理の徹底をお願いします。また、制御可能な頭数での散歩については、本人及び周りの来園者双方の安全を守るため、飼い主様がしっかりコントロールできる頭数での散歩をお願いします。散歩中の犬

犬の散歩に関するローカルルール

リードについて

常時リードを着用させ、リードの長さは原則2m以内とする。

※混雑時はリードの長さを1m程度で使用する。

排泄物処理

フンは必ず持ち帰り、尿は水で流すなどの処理をすること。

その他

他の来園者やペットなどの迷惑にならないよう、飼い主 1 人につき、制御可能な範囲の頭数とする。(目安:2 頭)

も含め、公園を訪れるすべての人にとって心地よい憩いの場となるよう、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。また、今回は他にも駐車場の植樹について議決した他、さらなる分煙強化と子供たちへの「コモンズ」理念の伝承に向けて検討を開始しました。特に喫煙に関しては、火事のリスク増加や改正健康増進法の施行を踏まえ、非喫煙者への配慮を含めた分煙強化の話し合いを進めています。次世代へのコモンズの理念の伝承については、未来を担う子供たちに身近な「カブトムシ」を題材とした教育アプローチを多様な視点から意見交換しており、来年度の事業化を目指して有志による検討を開始しました。今後も公園の様々な話題について議論を重ねてまいります。

お盆飾りで季節の雰囲気演出

精霊馬・精霊牛はあの世とこの世を行き来する乗り物です

きゅうりの馬（精霊馬）となすの牛（精霊牛）は、ご先祖様の霊が家に戻る際やあの世へ帰る際の乗り物として作られます。きゅうりの馬は足の速い馬に見立て、「早く家に帰ってきてほしい」という願いを込めています。一方、なすの牛は足の遅い牛に見立て、「ゆっくりあの世に戻ってほしい」という思いが込められています。※諸説あり。ご先祖様への思いやりと供養の気持ちを形にした日本の伝統的な夏の風物詩になっています。



★古河公方公園公式アカウント

古河公方公園公式アカウントを開設しています！

公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。



◀古河公方公園
Instagramアカウント
@koga_kubou



◀古河公方公園
X アカウント
@kubou_park

★公園を利用したい方は、お気軽に公園窓口までご相談ください。